光吉集

二条前大納言家百首

けぶりこそたつともみえねいつはりの
おもひにもゆるほたるなりけり

正中二年内裏歌合に、螢を

なにゆゑにもゆるほたるのおもひとは
ひかりをみてもしる人ぞなき

龜山殿千首中に

きえぬまももゆる螢のおもひ川
ながるる水のあはれとぞみる

身にかこつしるべとまでもたのまねず
あつむともなき窓のほたるは

蛭

ねぞめまでわれとかかげぬともし火の
窓にのこるはほたるなりけり

「国歌大観」より